

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
スポーツ医科学			選択	1	3	後期 (前半)
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
山本 泰宏		C304	yasuhiro_yamamoto		火曜日 14:30~17:50	
授業の目的・概要		担当教員が本学の教員と共同で研究している高校新体操トップチームの選手たちのパフォーマンスを上げるための研究活動の内容を紹介しながら、スポーツ医科学がどのような学問か学ぶ。それを通して問題解決の基本手技を体験する。 これまでの研究成果を発表した本学教員の論文を教材として利用する。 この講義は、同時双方向型授業等の遠隔授業で行っていく。				
学 習 上 の 助 言		教材は原則として講義の前々日までに Teams にアップするので予習しておくこと。				
教 科 書		指定しない。				
参 考 書		指定しない。授業中に紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	論文を批判的に読むことができる。			HSU(2)、(4)、(5) PT (1)、(2)、(5)、(6) OT (2)		
②	問題解決の基本手技を理解し、実践できる。			HSU (3)、(4)、(5) PT (1)、(5)、(6) OT (2)		
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	【オリエンテーション】スポーツ医科学とは。スポーツ医学との違い。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	予習: 解剖学、生理学、運動学の教科書を参考にして課題論文の内容を理解する。	4		
2	【科学について考える】先輩の卒業研究論文を教材として、科学とは何か考える。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	予習: 解剖学、生理学、運動学の教科書を参考にして課題論文の内容を理解する。	4		
3	【測定結果に自信はありますか?】リハビリテーションでは身体計測は評価の基本である。その測定値は信用できるのか考える。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	予習: 解剖学、生理学、運動学の教科書を参考にして課題論文の内容を理解する。	4		
4	【障害調査】新体操ジュニア選手をモデルとしてなぜ障害調査が必要なのか考える。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	予習: 解剖学、生理学、運動学の教科書を参考にして課題論文の内容を理解する。	4		
5	【関節弛緩性】関節が柔らかいとは? 関節弛緩性の定義と意義について考える。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	予習: 解剖学、生理学、運動学の教科書を参考にして課題論文の内容を理解する。	4		
6	【動作分析 1】競技パフォーマンスと動作分析の関係について考える。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	予習: 解剖学、生理学、運動学の教科書を参考にして課題論文の内容を理解する。	4		
7	【動作分析 2】大腿骨・骨盤・腰椎連動性について考える。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	予習: 解剖学、生理学、運動学の教科書を参考にして課題論文の内容を理解する。	4		
8	【股関節関節唇損傷】あまり知られていないスポーツ障害であるが、教員の専門領域について講義する。	講義 (同時双方向型遠隔授業)	復習: 解剖学、運動学、整形外科の教科書を参考にして講義内容を復習する。	4		
試	レポート					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	60	0	0	0	60
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	0	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	科学は問題解決の基本手技の応用であり、それがスポーツ選手の障害予防、パフォーマンス向上にどのように貢献できるのか自分なりの考えを指定された方法でレポートにまとめる。				レポートを返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎山本泰宏</p> <p>教員の実務経験： 日本スポーツ協会公認スポーツドクター WB リーグ山梨クィーンビーズチームドクター</p> <p>実践的授業の内容： スポーツ医科学に関連する卒業生の卒業論文や本学教員（理学療法学科 升准教授、作業療法学科 小川助教等）の研究論文を読みながら、スポーツ選手をサポートする方法論を実感できるように工夫する。</p> <p>授業は Teams を使用して同時双方向型遠隔授業で行う。課題ダウンロードや動画視聴などがあるので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p> <p>新型コロナウイルス感染症流行の状態によっては授業内容、授業形態、シラバスが変更になる可能性がある。その場合は事前に通告する。</p>							